

広域豪雨3人死亡23人不明



孤立した病院から救出され、自衛隊のボートで運ばれるお年寄り=11日午後0時35分、茨城県常総市

〔共同〕豪雨で鬼怒川の堤防が決壊し、大規模な水害に見舞われた茨城県常総市は11日、2人とも連絡が取れていないとして安否確認を始めた。宮城県でも堤防が決壊。川の氾濫も相次ぎ、同県栗原市で水没した車から見つかった女性(48)の死亡を確認したほか、車ごと流された男性(62)が行方不明となつた。栃木県では2人が死亡し、警報による豪雨被害の死者は計3人、負傷者は計26人になった。

茨城・常総、浸水1万棟超

国土交通省は、決壊した堤防付近でポンプ車による排水作業を開始。1週間程度で開口部をふさぐ計画で専門家による現地調査も行つた。記録的大雨となつた宮城県では、大崎市の渡井川が決壊、住宅街が浸水しがれ、市は、浸水被害があつた地区に避難勧告や避難指示を出しておらず、「対応が遅れた」としている。県内ではほか、河川が氾濫している。この地域でも河川が氾濫した。市は、浸水被害が決壊した。市役所ではボートで救助。県警によると、不明者には8歳の子供がいる。市は、41万人以上に一時、避難勧告を出した。仙台市は、11日未明、9月の気象庁による大崎市で観測史上最高となる1時間43・0ミリの激しい雨を観測した。

茨城県によると、常総市で救助要請のあつた約840人のうち、警察や消防、自衛隊が約650人を救助。県警によると、不明者には8歳の子供が含まれる。常総市の浸水被害は約1万1千棟に上つた。床下浸水し、孤立状態だった市役所ではボートで救助された。

河田恵昭関西大教授は、「今回のような降雨に対する対応が遅れた」と指摘する。河田氏は在宅治療するが、高齢者も多いと指摘する。河田氏によると、高齢者も多いと指摘する。河田氏によると、高齢者も多いと指摘する。

河田氏によると、高齢者も多いと指摘する。河田氏によると、高齢者も多いと指摘する。河田氏によると、高齢者も多いと指摘する。

〔共同〕企業の派遣受け入れ期間の制限をなくす改正労働者派遣法は1日、衆院本会議で自民、公明両党などの賛成で可決、成立した。施行は9月30日。企業が派遣制度を利用する際の規制緩和が実現された。

改正労働者派遣法が成立

受け入れ期間制限撤廃

用する企業の自由度は大幅に増す一方、正社員に幅に増す一方、正社員に

派遣労働者を受け入れ

される。

改正法は「専門」「二

般」という業務区分を廃止した上で、一律のル

止した上で、一律のル

</div



昭和天皇(第124代天皇)

国史百景
2015年8月9日版

メールマガジン

こくさいほんじんようせいこうざ
國際派日本人養成講座

789万人の陸海軍将兵に戈を收め
させるために、昭和天皇の大御心を説く
べく、皇族たちは戦地に向かつた。

終戦を支えた皇族たち

1. 「不退転のご決意を秘められた莊厳なお姿」

昭和20(1945)年8月12日、在京の皇族男子全員12人が宮中の御文庫付属室に呼ばれ、空襲で宮殿も焼け落ち分厚いコンクリートで覆われた暑く湿度の高い御文庫に、両陛下は住まわれていた。

昭和天皇の御聖断の御英断に譲んでお祓い致します」と奉答した。

2. 「自分の心中をよく伝えて欲しい」

第一線の将兵に

3. 「満洲帝國皇帝の亡命を助けよ」

昭和天皇は14日と同様の緊張した面持ちで、こう語られた。

竹田宮の追方に押された近班長は、杉山総長に宮

の思いを伝えると、「そうか、それほど御決心

か!」と涙を拭い、「万」のことがあつたら切腹する覚悟を固めて、自ら東條大臣を説得した。東條大臣は死ね」とはその母からの手紙の中の一節であつた。

内親王だけに気骨ある母親は、明治天皇の皇后・昌子が夫々手分けして第一線に行つて自分に代わつて自分の中をよく第一線の将兵に伝え、終戦を徹底記している。

日本への好感度を国別に見ると、マレーシアの84%が最も多く、ペトナム、フィリピン、オーストラリアも80%以上となつた。一方で中国は12%、韓国は25%などとなり、同センターは「歴史問題の対立が反映している」と分析した。

ストラリアも80%以上

となり、同センターは「習近平国家主席は47

歳で、日本、中国、韓国

の習近平国家主席は47

歳で、日本、中国、韓国</

復員記

サンパウロ 建林 成幸

ニッケイ新聞

第4344号

2015年 9月12日(土曜日)

復員とは、戦争が終わることをいう。今年、日本は戦後70年を迎えた。70年も経てば、人はみな高齢に達し、生き残った人は僅かで、戦争を知らない世代の時代となつた。私は大正15年(昭和元年)生まれで、終戦を数え歳20才で、シナ隊陸華北青島の海軍航空隊で、航空兵として迎えた。

当時の青島(チャンタオ)は、元ドイツが委任統治していた都市で、第1次欧州大戦後、日本がこれを受け継ぎ、日本の統治下にあつて民間企業が進出。日本人街などが栄えていた。日本軍の兵站基地となり、敵領地でありながら圧倒的な日本軍の制圧下に、平穏な市民生活が保たれていた。從軍をやつて置かれていたもので、実戦からはじまつたのが昭和20年8月15日、終戦の日を境

に状況は一変。青島湾に進出した米空母発進の艦載機の編隊が超低空で我飛行を繰り返し、我が方

は無抵抗のまま手を挙げて飛行を止められた。やがて撤退の日が訪れた。隊ではそれまで、毎朝司令部前広場に全員整列し、軍艦旗の掲揚をもつて、この日が行われたことが、この日は同じく司令官の悲痛な訓示に続いた。軍艦旗降下式をもつて、永遠にこの地を去ることとなつたのである。

そして我われの撤退と入れ違いに現われた中国正規軍の姿は、この地に味わつた無念の思いは今も鮮明によみがえる。

その後約3カ月を歸郷して青岛港より米軍の上陸用舟艇に乗船、故国へ送還されたのである。敵前送船のこの船は、現在のカーフェリーと同じよ

うに、懐かしさ、そして安心感はある。印象である。

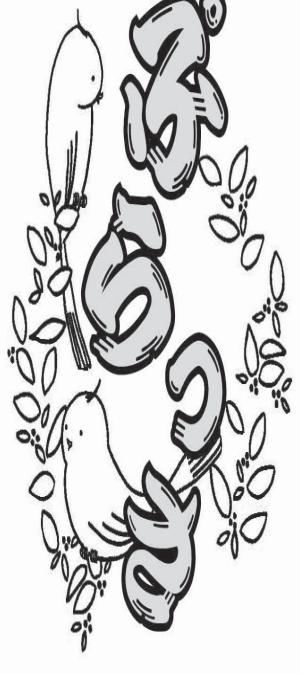
この時に眼に入った日本特有の優雅な島影の美しさ、懐かしさ、そして安心感は忘れることがない。しかし、先人

が苦難を乗り越えて、満員の中に割り込んで、翌朝博多駅に到着した。私はここで後続の軍艦旗降下式をもつて、この夜は両親を用ひ互いの無事を喜び合つて、初めて眼にした敵國軍隊の姿は、この時に味わつた無念の思いは今も鮮明によみがえる。

その夜は両親を用ひ互いの無事を喜び合つて、初めて眼にした敵國軍隊の姿は、この時に味わつた無念の思いは今も鮮明によみがえる。

想い出を暖めて「心の旅」

クリチーバ 田口さくお



コチア産業組合中央会の破綻について

パラナ州カストロ 香川 公宏

投稿者におねがい

口二アの日常生活、珍しい話など奮ってご参考ください。

口二アの日常見解を述べてみます。



(第43回)

ビジネスの現場から

白伯コンサル
奮闘日記東京・サンパウロ・リオ
ビジネスの現場から

ブラジルで仕事をして

いると、最初はブラジル

人の計画性の無さにイフ

いしたり、腹を立てた

それに準じて進めるよう

て、当然ながら事業計画

やスケジュールを立て、

本当に気づくとしようが

なくない。進出の

日本企業も欧米企業も

ブラジル進出にあたつ

て、その後も、まずはお

りするが、その裏に潜む

役所の壁にブチ当り、立

る。だから、あといぐら

うか、はつきりしている

ところが、一ヵ月前に

調査にきた時の話では

二週間で出来た手続き

から計画を立てている。

というか、あいだから、

こうだから、あといぐら

うか、はつきりしている

ところが、一ヵ月前に

調査にきた時の話では

二週間で出来た手続き

から計画を立てている。

